



■これまでの農福連携 人材育成を中心に取組を展開

●農業の多様な担い手の確保や、障がい者の新たな就労の場の創出につながるよう、福祉事業所の農業参入の支援や農業者による障がい者雇用の促進など、農福連携に取り組んでいます。

●これまでの主な取組

①農業と福祉をつなぐ人材育成

農業大学校在学生を対象とした講座の開設、福祉事業所支援員向けの技術習得研修

②障がい者向けの技術習得

普及指導員による特別支援学校学内実習、福祉事業所利用者向けの技術習得研修

③障がい者が取り組める農作業領域の拡大

作業の工夫と改善事例集、福祉事業所向け経営マニュアルの整備



三重の農福連携～農業を支える新たな担い手の育成～



■これまでの農福連携 福祉事業所の農業参入は着々と増加

	H24年3月	H28年3月
農業参入した福祉事業所	14事業所	37事業所
農業分野で就労する障がい者	179名	498名

福祉事業所の農業参入は着々と増加、地域農業の中心的存在となる福祉事業所も現れています。



新たにゴマの栽培にチャレンジ！

■これからの農福連携 農業者によるさらなる雇用拡大へ

- 一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会と連携しながら
①農業ジョブトレーナーの育成、認証・派遣制度の整備
②障がい者の就労体験の実施

就労体験を受け入れる農業者へのトレーナーの派遣

- ③福祉事業所による農作業請負（施設外就労）の推進

障がい者による農作業の労力補完の実証

- ④「農福連携全国サミット in みえ」の開催
などに取り組み、さらなる農福連携の発展を目指します！



丁寧につくられて評判のイチゴ！



■ これからの農福連携 今秋、「農福連携全国サミット in みえ」を開催！

- 障がい者が農業の担い手として活躍することによって、地域コミュニティが活性化するなど、地域の課題解決につながる事例も生まれています。
- 障がい者がブラッシュアップに取り組んできた農産物、加工品を県内外に情報発信すること、さらに、サミットを契機に全国的なネットワークを構築し、全国の先進事例について情報共有し、その取組の水平展開を促すを通じて、農福連携のさらなる発展を目指します。

日程：平成28年11月30日（水）・12月1日（木）

場所：1日目：三重県総合文化センター 2日目：県内農福連携事業所等

内容：基調講演、国内先進事例の実践報告、パネルディスカッション、
パネル展示、マルシェ、農福連携事業所の現地視察等

